

エリマネニュース

第18号

深谷台小学校地区の広報紙

発行日：H23年11月30日
発行者：深谷台
地域運営協議会
連絡先：深谷台小学校内
地域交流室
TEL：392-5735

見守りに関するアンケートにご協力ください

◆見守り・緊急通報システムのモデル実験が終了しました◆

見守りネットセンターでは、（財）電力中央研究所が新しく開発した見守りシステムのモデル実験を1年間実施してきました。ハイツの7世帯の皆様にご協力いただきましたが、10月末で終了しましたので、その結果とご意見の一部を取りまとめました。

（このシステムは、電気のブレーカーに小さな機器を取り付けて電力量の波を見て異常を知る方法。また急に体の具合が悪くなった時に、手元の緊急ボタンが押されると直ちに担当者の携帯電話にメールが届き、安否を確認するシステムです。）

1. 1年間の見守り実験の感想

- ① 良かった 3名
- ② 安心した 4名



2. 緊急通報ボタンの利用について

- ① あると安心（必要） 6名
- ② 使うのに遠慮がある 1名

3. 見守り実験で気づかれた点

- ① 機器での見守りは有効だと思う。玄関のブレーカーへの設置機器は特に気にならない。
- ② 緊急通報ボタンは、いざという時に、置いてある場所と離れた所にいたら使えない。
- ③ いざという時にあわててしまい、緊急通報ボタンを押すことに気が回らなかった。
- ④ 緊急通報ボタンがあることが、精神的に安心である。

4. どのような見守りシステムがあれば安心ですか。

- ① 機器での見守りは必要だと思うが、室内センサーによる見守りは、監視されているようで嫌である。
- ② いざという時、災害時のことが心配です。誰かが駆けつけてくれる体制ができていれば安心です。
- ③ ハードの見守りには限度がある。隣近所同士の見守りが大切で、毎日会話できる環境が大事だと思う。

◆全戸にアンケートを配布します。ご協力ください◆

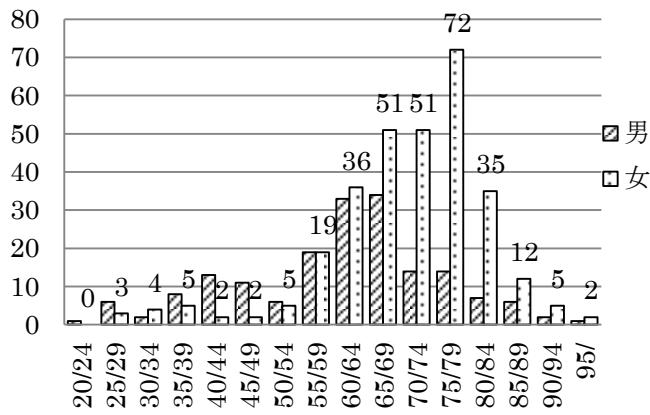
見守りネットセンターでは、次のステップに移行するに際し、11月下旬アンケートを実施し、皆様のご希望を把握して、これからの活動に活かしていきたいと考えています。

どうぞよろしくご協力お願いいたします。

ドリームハイツの将来ビジョン ——その3——

ハイツ住民のうち平成22年11月末時点の独居世帯の状況を見てみます。

単身世帯の年齢区分別・男女別人口構成 (H22 総計 481)

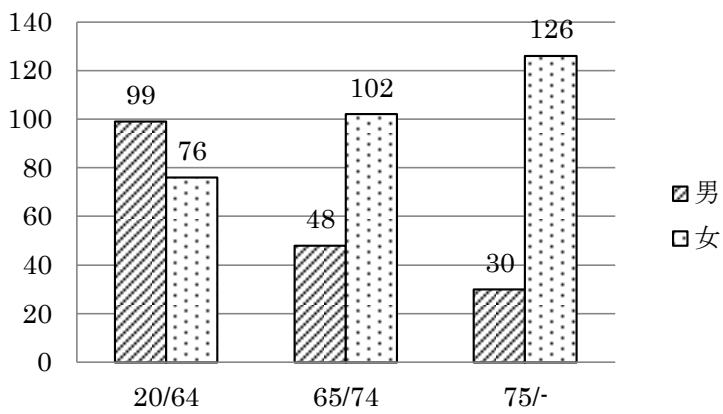


- ・単身世帯の総数は481世帯
男性=177世帯(36.8%)
女性=304世帯(63.2%)

- ・年齢区分では
男性のピーク=65歳～69歳
女性のピーク=75歳～79歳
- ・後期高齢期の単身世帯は女性が多い



単身世帯の高齢化状況
(総計=481)



- ・高齢期区分別の単身世帯を見ると
前期高齢期の世帯=150世帯
後期高齢期の世帯=156世帯
- ・高齢期の単身世帯では、女性が多い
- ・生産年齢期 20歳～64歳では
単身男性の世帯=99世帯
単身女性の世帯=76世帯
- ・生産年齢期の単身世帯は男性が多い

ドリームハイツの姿【概要まとめ】（平成22年11月末時点のデータ 出処：戸塚区役所）

- ・世帯数：2,270世帯 住民総数：5,149名（男=2,477、女=2,672）
- ・60歳以上の人口 2,547名(49.5%)、65歳以上の高齢者人口=1,875名(36.4%)
- ・高齢者の内訳：前期高齢者=1,211名、後期高齢者=664名
- ・単身世帯数=481世帯（男=177、女=304） 後期高齢期の単身世帯数=156世帯

ドリームハイツのこれから（10年後を見据えて）

【60歳以上74歳までの人口】=1,883名の方々は、地域の大切な資産です。

まだまだお元気で、お世話になるよりも、お世話をできる方々が多いことでしょう。

子育てを終了し、時間的にも金銭的にも（？）ゆとりができた方々が、これまでの豊富な知識・経験・人脈などを生かし、地域のため（自治会、管理組合、ボランティアなど）に・趣味・勉強などに【仲間とともに】歩むことが出来れば、快適で・住みよいハイツになることでしょう。 あなたのこの地域でのこれからのご活躍をお待ちしております

夢みん講座「認知症を考える」

自分や家族、知人が認知症になつたら・・・認知症という病気を理解するために10月4日、ばんどうクリニックの板東邦明院長による講座を開催し、81名の方が参加されました。

〈認知症とは・・〉

脳の働きの低下により「物忘れが激しい」「言葉が出てこない」「注意力が続かない」「段取りが悪い」など複数の症状が急激に進行し、日常生活に支障をきたす病気です。

〈もしやと思ったときは・・〉

早期発見、早期治療が大事です。初期には症状を遅らせる薬もあるので、何度も同じ事を聞くなど、兆候があればすぐに「かかりつけ医」への受診をお勧めします。医療へつなぐことで家族は病気への心構えができ、情報やサービスを得やすくなります。

〈本人と家族は・・〉

認知症の「本人には自覚がない」は間違った考えです。ちょっとした失敗を繰り返しているうちに自分への眼差しが以前と違っているのを感じて不安や孤独を感じます。心配なのも苦しいのも悲しいのも本人自身です。

また、ストレスは介護している人も溜まります。身内だけで抱え込まないで下さい。毎日の大変さを誰かに話し、理解や協力を得ることも必要です。頑張りには限界があるので少々の手抜きはOKと割り切り、罪悪感を残さないことも大切です。

〈予防には・・〉

新聞朗読、1行日記（いいことだけ）、散歩、趣味、大笑い、人と交流する。

認知症、地域ぐるみで丁寧に！

以上 講座より



板東先生の話に聴きいる皆さん

講座終了後のグループワークでは、複数の方から「明日は我が身と改めて認識しました」との感想が寄せられました。私たちに必要なのは、病気の苦しさ、介護の大変さを汲み取る気持ちです。そして、病気をきちんと理解することで支える人も増えていくと思いました。

また、10月18日に行った「介護体験を聞く会」では、介護真っ最中の方々の身につまされるお話を聞かせていただきました。今後も地域の皆さんとともに、病気になっても認知症になっても住み続けられるまちづくりを進めていく予定です。

・・・今後の予定・・・

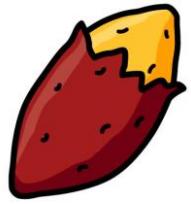
☆「介護体験を聞く会」 H23年12月7日(水)13時～14時30分 夢みん洋室

アドバイザー：みかみ小規模多機能所長と看護師兼ケアマネジャー

☆「認知症の方への接し方」 H24年1月24日(火)10時～11時30分 県第1集会所

講師：マザー原宿 林所長

「保野公園のつどい」 開催します



日時 H23年12月23日（金） 10時より14時
場所 保野公園多目的（しばふ）広場
目的 地域の皆さんとの交流をはかりましょう
出し物 やきいも配布（無償支給 先着350名 11時より配布）
子供の遊び場（ハンモック等）、練功、
横浜薬科大学管弦楽演奏（レストハウスにて）

「保野公園のつどい」には 緑の協会、メモリアルグリーン、自治会（県・市ハイツ、アーチプラザ）、県管理組合、横浜薬科大学、深谷中学校、深谷台小学校、地域のつどい等地域の団体の協賛を得ています。皆さんのご参加をお待ちしております。



クリスマス会へのおさそい

ことしも ハイツの クリスマス会を やります。

みんな おともだち おにいちゃん おねえちゃん おとうと
いもうと といっしょにきてください。もちろん おとうさん
おかあさん おじいちゃん おばあちゃん もいっしょで だいじ
ょうぶです。

いつ 12月 18日(日) ごご1じはん～3じごろまで
ばしょ けん ドリームハイツ だいいち しゅうかいけじょ
だしもの おやじのうた ペーパーサート アニメ 手品など。
サンタさんがプレゼントをもってきます。

さんかひ むりょうです。

(県自治会のご支援とおやじたちの自主財源で実施します)
しゃさい おやじの会 すぎのこ会 ぽっぽの家

連絡先(852-1670 関)

編集委員募集！

エリマネニュースの編集委員になって、新しい風を吹き込んでください。編集時にアイデアを出したり、記事を書いたり、集めたり、得意なところで力を発揮してください。

連絡先：392-5735



【広告】

ほっと理容室

(予約優先) TEL 045-852-8550

定休日：毎週火曜日、第2、3月曜日

営業時間：8:30～19:00

横浜薬大南門（旧ランド坂下）バス停のすぐそば

大人 3000円 大学生 2800円 高校生 2500円 中学生 2200円

小学生以下 1300円（カットのみ） 女性顔そり 1800円 出張理容 3500円（カットのみ）

P 有

一あとがき

北風がふっと身にしみる季節が訪れました。我が子と手を繋ぐと手の温かさにほっとさせられます。人と人との繋がりもこんなふうだったならきっと地域が暖かく笑顔あふれる所となることでしょう。できる事から無理なく始めてみましょう！きっとほっとできる人、場所に出会えることでしょう！（近藤）